

件名	H30 第 2 回湯梨浜町泊地域小さな拠点検討協議会		
日時	2018 年 9 月 11 日(火)19:00~20:30		
場所	湯梨浜町中央公民館泊分館 2 階大会議室		
出席者 (敬称略)	(委員 8 名)遠藤公章、石沼友、尾川寛信、西田貴頼、中尾輝夫、田嶋昭彦、渡辺由佳、 石井美佳代 (コーディネーター) 地域活性化伝道師 澤田廉路氏 (オブザーバー) ・ 県中部総合事務所地域振興局 山口リーダー、米原係長 ・ 地域おこし協力隊 辺隊員 (事務局) 湯梨浜町役場みらい創造室 仙賀副町長、遠藤室長、谷岡主事		
			計 15 名
決定事項 (合意事項)			
次回までの 調整事項			
配布資料	協議会会議レジュメ、地域活性化伝道師について、今後の予定 (案)		

1. 開会

(事務局)こんばんは。それでは泊地域小さな拠点検討協議会を開催いたします。8 月 10 日から 2 年間と言う事で、また、新しいメンバーとしてのスタートと言う事になります。よろしくお願いいたします。それでは、最初に副町長より挨拶をお願いします。

2. 副町長あいさつ

みなさん、こんばんは。小さな拠点協議会、平成 28 年 8 月 10 日に第 1 回が開かれて、今 2 年間の中で、いろいろな提案なりを受けて、会長の元で今年この提案を受けた訳ですけど、次に向かわなければならないという事で、提案に基づいて、じゃあ自治体はどうやって行こうかという次の段階に入って来ているという事でございます。当初公民館を中心として複合施設を作って行こうという事を、こちらの方からもある程度、話をしながら検討していただいた訳ですけど、実際この高台の中に全部を作ると、湯梨浜町のように高齢化率の高いところで、全員がそこで利用できるのか、その場で、1 つの場所で完結するかもしれませんが、果たしてそれが、湯梨浜町の場合地域に適しているかどうかという議論をいただいて、今の状態は、公民館は公民館のままで、そして、下の泊庁舎も、当初壊すような事で協議会の中では出発しておられたみたいですけど、泊庁舎を活かしていきながら、なお且つ、ここの協議会の議題になっている買い物難民をどうしていくか、新たな施設作りを含めて検討していただき、あるいは計画を示していただいた訳です。これから 2 年間協議会の中で練っていただきたいのは、それぞれの施設をどういう形の中で立ち上げていくのか、と言う事になるかと思っております。公民館も、協議会の結果を持って、実は次の段階に向かっていく、これはきっと教育委員会が中心になってやられてくるんですけど、その基となるものをここで作っていく、ある程度、教育委員会とも話しています。ですから、ここで練った案が次のステップとして、教育委員会の方で実施設計に移っていくのかなと言う気も致しておりますし、泊庁舎の方を当初壊すと言うものから、耐震をしながらある程度そこに複合施設が入ればいいのか、という、今の庁舎だけではなくて、ある程度泊地域の方々が使えるような場所があればいいのにな、という考え方も 1 つ提案の中に入っておりますので、その画を描いていきたい、買い物難民に対するその辺りの施設についても、どういう形になったら一番似合っているのか、今の松崎地域の中に遊休の施設を利用しながら新たな展開をしておりますけど、なかなか地域の方にもきちんと把握してないよというような意見が、でておまして、こういう新しい物を作って行けば、どういう形の中で、それぞれ地域の方が利用していく、地域の中で一番利用しやすいものを、ここの協議会で練っていただくわけですから、それをきちんとそれぞれの地域の中に広げていく事も一緒になって検討していければなとも思っております。もう少し遅れて次のここの議題にも入っております、地域活性化伝道師と言う事で、町が今回目指しているのは、新たな展開を目指していきたいと思っております。もうじきこられると思っております。話の中で議論していただければと思っております。

ますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。以上です。
(事務局)はい、ありがとうございます。

3. 委員紹介

(事務局)では、委員紹介という事になります。新しい体制になりますので、全員で自己紹介しましょうか。

.....自己紹介.....

5. 会長・副会長の選出について

(事務局)はい、それでは日程ではコーディネーター、先ほどちょっとお話ししましたけど、内閣府の地域活性化伝道師という事で、資料 1 を 4 ページに載せております。澤田廉路さんがもうすぐ来られると思ひますが、協議会へのアドバイスだったりとか、コーディネーターだったりとか、小さな拠点の基本計画作成という事で関わっていただくと言う事になりました。また来られてから自己紹介していただく事にしますので、よろしくお願ひします。それでは説明させていただきますが、次の 5 の会長・副会長の選出と言う事になります。要綱上は委員の互選と言う事になっています。どのようにさせていただいたらよろしいでしょうか。

(委員)平成 28 年から始まりまして、2 年間経過しました、その中で今回も町長に意見書を提出していただいて、ある程度方向性を今まで示していただいたので、これから新しい方へ変わるって言うのも自分はなんだと思ひますので、推薦で会長、副会長を引続きで推薦したいと思ひます。

(事務局)今、会長、副会長推薦がありました、みなさんどうでしょうか。

(一同)異議なし

～会長 遠藤 公章氏、副会長 石沼 友氏が承認された～

(事務局)皆さん、よろしいでしょうか。そうしましたら、会の進行は会長という事になっていますので、どうぞ、よろしくお願ひします。

(会長)分かりました、以後はこちらの方で。ちょっと最初に、2 年間会長を務めさせていただきまして、なかなかスピーディな決定も出来なかった事もあったりもしましたけど、まあなんとか、いろんな方向にいきながら、でもまあ着地点が 1 回は出来たなと思っております。これからやっぱり一番大事なのは、拠点を作って運営していくと言うところが、これから真剣に考えてやらないと、買い物機能の分で言ったら正直、採算ベースと言うのはこの限られた人口の中では、なかなか上がってこないと言うところをどうするかと言う事を、皆さんと一緒に、もしくはプラスで住民の方と一緒に考えていけたらなと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。

(副会長)引続き副会長を拝命致しました。2 年間やってきまして、いろんな問題が浮き彫りになってきましたけど、もちろんいまの課題もたくさんありますが、今後泊地域で生活していく上で、10 年後、20 年後を見据えて、そういう計画なり事業にしていければと考えております。どうぞ、よろしくお願ひいたします。

6. 泊地域小さな拠点検討協議会の今後の予定について

(会長)6 番の泊地域小さな拠点検討協議会の今後の予定について、事務局からご説明をお願ひできますでしょうか。

(事務局)・・・資料 2 に沿って説明・・・

(会長)今の説明の中で、何か分からない事や聞いてみたい事がありましたら、どうぞ、ご自由に。

(事務局)新しい方もいらっしゃるから、最初のプランの話を、ちょっと提案を説明して。

(事務局)・・・提案書について説明・・・

(会長)はい、ありがとうございます。

(事務局)補足ですが、中央公民館泊分館、建物は将来解体と文章が止めてあるんですけど、解体して建替えると言う事で理解いただきたいと思ひます。

(会長)ああ、分館ね、解体して建替えると言う事ですね。

(事務局)文章だけみて、解体で終わっていると、誤解を与えかねないので。

(会長)はい、分かりました。どうですか、皆さんの方で、ご意見とか聞いてみたい事とか。ちょっと 1 つよろしいですか。資料 2 のスケジュールの所で、一番下の検討協議会と言う所が、私たちやる事の、役割と言うか、と言う事で、買い物機能やコミュニティ機能の基本計画は、策定とか基本設計

は、それは別の所で動いていただくと言う形で、その情報をここでいただきながら、意見を述べさせていただくという考え方でいいですか。

(事務局)それでいいと思います。

(会長)皆さん、他どうですか？委員Aさん、初めてこられたと思うんですけど、見られて、まあ率直にどんな感じでしょうか？

(委員A)率直な意見として、過去に成功例って言う訳じゃないですけど、浜山団地、これが分譲いたしましたして、町営住宅が建てられまして、これって特に泊地域中心だったと思いますけど、泊地域から羽合地域にどんどん人が出て行った事があります。実際問題、園区からも出ていかれた人も泊区から出ていかれた人もありますが、浜山団地が出来た結果、若い人が浜山団地に家を建てられたと、いわゆる泊地域に住んでられる方、二男、三男の方が定住されたと言う訳なんですけど、これってとっても良い事だったなあとあって、実際問題感じております。いわゆる店舗だとか、移動販売の歳をとっられる方々の、そういう足がない方々の訪問販売、移動販売はとてもいい話だし、良い事だと思うんですけど、やはり、若者をいかに定住させるかって言うのが喫緊の課題だと、それが、前回も一番の話題だと思っているんですけど、もうちょっと空いてるところを町が買い上げるっていう言い方もしたらいけないんでしょうけど、町も予算がないんで、あれなんでしょうけど、そういう事にもうちょっと力を入れて欲しい、例えば原地区にしても、かなり便利の良いところが空いてるような気がします。宇谷地区でも、ここをこういう風にしたらいいのかなって言うところもあると思うし、特に宇谷地区の住民として思うのは、その昔生協があったところ、選果場があったところにある企業さんが入ったんですけど、解体して更地になっている所、あれもいかにどういう風に活用していくのか、地権者の方とどういう風にいろんな意見を交わしながら、了解を得ながら、いかに利用していくのか、更地になったままではなくて、という形をやはり考えていかないと、いかんと思います。乳母車を押した、おじいさんおばあさんがたくさんおられますので、やはり買い物に行くのが不便だという事があるので、移動販売も、例えばテレビだったか、山間の方に移動販売に行かれる方があって、その方があれない、これがないって全部メモされて、次にきますので、それまで待ってくださいといった感じで、その時にぱっと持って行って、おじいさんおばあさんに販売する、って言う格好を取られていたんで、それも必要なかなあって言う事は感じました。

(会長)はい、ありがとうございます。それでは、コーディネーターがいらっしゃったので。

(Co)よろしくお願ひします。手伝いができればと思ってやってきました。3月まで鳥取大学の方で、まさにこういった地域の人たちと一緒に、地域連携推進機構という所で仕事をしておりまして、何か役に立つと思ひますけど、3月まで鳥取大学の方におりましたけど任期がきた。実は大学に行くまで33年間、鳥取県庁に勤めていまして、地域おこしと言ひますか、地域づくりの関係をいろいろやっております、今までやってるところでは水木しげるロードや、中部では、倉吉の白壁土蔵群に関してきました。みなさんと一緒にお仕事をできてお手伝いができればといいなと思ひていまして。まあ、そんなことで、何か出来ればと思ひていまして。あと、地域づくりの関係の審査員もしていまして、たみの人たちとか、三八市の鬼嫁の人たちの、審査などした記憶があります。よろしくお願ひします。

(会長)よろしくお願ひします。

(事務局)この協議会自体が自分たちで物事を考えて結論を出していくというような方向付けだった。今年、最初に早く画が描けるような、皆さんの意見を集約しても、実際に、ではどうしていくかという画が描ける人が実はないと、皆さんが次の協議が出来ないんじゃないかという事もあったので、実は無理してお願ひいたしました。

(Co)画を描くのは、まあ画と言っても本当の画もあるんですけど、いろんな皆さんの考え方を図にしたり、あるいは分かりやすい形に整理したりして、意見を集約してどういう風にしたらいいかにやっていったらいいのかという事を示すことが、皆さんの意見をまとめたり、進めるために必要な事かなと思ひて、話を聞きながら、画を描き、最終的には設計図の形に、すればいいんですかね。

(会長)所詮僕らは素人ですので、ノウハウもなければ、情報も少ないという事で、どうやってこれから、実際動き出す時に、どんな進め方がいいのかというのが分からない部分がありますので、そういう部分ではよろしくお願ひします。あの何かあればですけど、折角来られたので、委員さんから一言ずつ前回の事も今後の事も含めて、一言ずつ話していただければと思ひますけど、いかがですか？

(委員)私はどちらかと言うと後ずさりするタイプなので、みんなに引っ張ってもらいたいです。一応店をやっている事を置き換えて、店は出来ても、それを続けることが一番難しくって、率先して、じ

やあ、私がやりますとも言えなくて、まだ二の足を踏んでる状態です。それでもがんばってみようかなあと思っています。引っ張ってください。

(Co)得意な事がありますか。好きな事は？

(委員)得意ですか？おしゃべりですかね。

(Co)大事な事です。

(委員)たまたま今日社会福祉協議会の方に、岡山県の矢掛町っていう所の地区の社会福祉協議会から電話があってですね、視察を受け入れていただけませんかという事で、受け入れたんですが、その後言われたのが、「漁港ですよ、買物するところありますよね」って言われました。ええっと思って、魚買う所ですよ、ないぞないぞと思って、その話は終わっちゃったんですが、そういう話が今日ありまして、今後拠点を作っていく上で、そういう事も考えていただきたいという事と、あとぱっと今思ったんですけど、来年、山陰道が開通して鳥取の方までいくと思うんです、そこで構想として鳥取県は米子鳥取間1時間という構想を練っていると思うんですけど、やはりその途中の鳥取砂丘、水木しげるロード、そっちに行っちゃうんじゃないかと、途中下車できるように、ネットとかで配信しても、見るかどうかというのがありますし、高速道路を通ってくる時に、高速道路内には多分看板が建てられないと思いますが、山とかにも「拠点」と、何だろう降りてみよう、っていう風な発想を持って、なるべく泊に、中部の方に降ろしていくという方向性を、何か示す事が出来たらなあという風に私は思いました。

(委員)私は、店舗と建物自体が維持できるのかなって、コンビニだったら利用するかなと思うんですけど、地味に終わっちゃうのが心配なのと、宅地の事も保留になっている、気になるなあと思います。あと、折角だから土地にあった、さっきの途中下車じゃないけど、地域の物、目玉じゃないけど、そういうのもあってもいいかなと、あくの強いお土産みたいなのが、そこでしか買えないような物とかも、折角グラウンド・ゴルフの発祥の地で人がたくさん来るので、そのついでにお金を落としてくれるような、ここのコミュニティについてがあったらいいなあと思います。あと、サーファーも来るので、温水の蛇口や簡易なシャワーもあってもいいかなと思いました。

(委員)協議会が立ち上がってから、各区長、総区の方でオブザーバーとして、ずっと話を聞いたり、ちょこちょこ意見を言ったりしてきたんですけど、なんか漠然としてあれでね、いまだに、こういう風にしてこういう計画を立てられて、スケジュールをといてますけど、なんかイマイチ自分もよく分からなくて、流れってういかね、会のある程度こういう物、まとめられたでしょ、アンケートでね。でもこういう会議の時のけじめ、けじめで、今日はここまで、次回はこういうところをもうちょっと、ここで考えるのではなくて、ある程度生活で考えてきて、ここで意見を言うとか、そういう題を作って、帰ってもらった方がいいと思う。

(Co)いいアイデアですね、今の話のとっても良いのは、今日の目的、全体のスケジュールの中で、ここまでは決めましょう、じゃあ拠点のテーマを決めましょうとか、なになにを決めましょうとかっていう事は、スケジュールの中に入れ込むことはとっても大事な事です。

(委員)利口げなことを言うようですが、自分たちは、前回までは各区長、オブザーバーとして決議権はない、だから、なんか初めのうちは来てたけど、全然、となりますよね。そういう、けじめ、けじめがないしね。だから、小さな拠点は小さな拠点で分かるけど、もうちょっと緊張感を持ってやってもらった方が。だから、だんだん参加者なんか少なかったでしょ、最後の方になって。それと誰もする人がいないんだろうけど、こういう組織なんかのなかなか今まで経験がないから、勝手な事を言うかもしれませんが、なにか切羽詰まったからこういうのを立ち上がってきてるでしょ、行政の方も、なんかその辺がみんな、自分らも持ち帰ってそこまでになっちゃって、おじいさん、おばあさんばかりだから、どうせ言っても分からないって感じになって、まあそこまではないけど、なんか緊張感がないだかね。

(Co)とってもいい事です、今の話は、で、逆に今日の会議の目的は、さっき顔合わせが第一という話もあったけど、役場として今日はどこまでなんか出したいというのはありますか。

(事務局)スケジュールというか、今年の方針だけです。

(Co)ちょっと落書きしますよ。今日の一番の目的は何でしょう、スケジュール。今日はスケジュール、今とっても良い事をおっしゃいました。多分振り返りだと思います。あと、結論とか方向性。スケジュールの中に今おっしゃったように、振り返りをする所と、結論を出す所とないといけないうのかなと思います。だから、この中に、9月からいつまで基本計画を、基本計画をどこまでに何をするかという事があります。あと、これが、さらに基本設計をしないといけないう、基本設計するためにはどういう計画をするか、何の目的で、どういう物を作るかという基本がないと設計は出来ないで

すよね。で、これをするためには、実際今のこの地区の課題を整理しなくてはいけない。泊の課題って何ですか？

(委員)人口減少。

(Co)他には。

(委員)高齢化。

(Co)少子高齢化。人口が減少して、少子高齢化になって恐い事は何ですか。人口が減るって事は悪い事ですか。高齢化するって事は悪い事ですか。

(委員)施設がなくなる。

(Co)施設がなくなる事が悪い事ですか。

(委員)不便になる。

(Co)何が今一番不便ですか。買い物が出来なくなる事ですか。まず一番最初にしないといけない事は、計画を策定しようとしたら、課題を整理しないといけない。計画する時に大事な事。これね、SWOT分析というんですけど、泊のSWOT分析をしないといけない、これが整理するための一つのツールです。強みって何ですか、泊の、1つには海があることです。グラウンド・ゴルフ。ピンチは少子高齢化。意見をたくさん出してもらって、全体像を浮き彫りにして、じゃあ浮き彫りにして、弱みを解消するためには、さっき課題と言いましたけど、少子高齢化って言うのは課題じゃないんですよ、困ることは何かって聞きましたでしょ。困ることを解決することが課題なんです。これは現象だけなんです、課題は、少子高齢化をして、施設がなくなる、不便になる、買い物が出来なくなる、これが課題なんです。そういう整理をしないといけないんです。例えば、今日の目標はなんですか、少なくとも今日は泊の現状分析することをしましょうとかね、それでスケジュールを確認して、こういう風にしましょうとか、スケジュールの中で例えば9月中に強み弱みを整理する、今日はこの整理、これを整理することによって、計画の骨組みが出来ると、そういうことだと思います。これが決まらない事には設計には至らないですね。でこちらが、身近な内部的な事、社会的な事、例えば地方創生の風が流れているとかかいう大きな話ですね。少子高齢化は泊に限らず、全国的な話。こういう形で整理することが大事です。こういうこと例えばさっきおっしゃったように何かしないといけない、宿題で、例えば泊の強みを3つ以上出してくださいとか、弱みも3つ以上出してくださいと言うのが、宿題を出してですね、みんなです。そういう事をしないといけないと私は思います。とてもいい指摘だったです。だから、今日は何をしますよと、毎回毎回、それがスケジュールの中でポンポンポンはまっていく事が大事な事だと思います。ちなみに強みはなんですか。泊の強み。海って言ったけど、栽培漁業センターがあったでしょ、ああいう施設があることは強みです。あとはグラウンド・ゴルフがあるし、あとは温泉があるって言うこと、当たり前のように皆さん思っているかもしれませんが、絶対に強みですよ。池があるところだし、東郷湖が。あとは、弱みとかピンチだと思っていることは実は、裏返せばそうじゃないところもある、例えば高齢化って、智頭でやったんですけど、高齢化って年寄りが多くて困ることがいっぱいあるように思うけど、年寄って土地持ちなんです。土地持ちで金持ちなんです。時間もいっぱい持っている。そういう使い方、仕事いっぱいしないといけないんですけど、割と時間があるという事は、こういう物はうまく事利用する。弱みって何ですか、弱み、少子高齢化以外。

(委員)店がない、違うか・・・。

(Co)どんな店がほしいですか。

(委員)ガソリンスタンド。

(Co)ガソリンスタンドだけですか。さっき買い物難民の話がありましたよね。で、これを見ているとヒントが出てくるんですよ、今年の6月に私は岡山県に行ったんですけど、同じことがありましてね、ガソリンスタンドがない、閉鎖してしまっていて困って、そしたら、地域の人たちがガソリンスタンドと店がないので、ガソリンスタンドと店をセットにした拠点を作ったんです。それは地域の皆さんのような協議会とか何とかの人たちが順番にこれを運営しようということ。で、店がない、地元の野菜を置いたりして、みんながそこで買い物ができる、あば村ですね。店がなくてそれを地域がやっちゃったんですよ、今合併して津山市になっちゃった。これを作っちゃった、地域が。だから、こういうものが必要ではないかという事で、それを作ろうという話になるわけですよ。まずこういう整理が必要ですね、あと意外と皆さんは地元だからわかると思いますが、「たみ」がありますね、県外から若い人がたくさん来てるじゃないですか。あれ、すごいチャンスですよ、ああいう所には、人がいっぱい来るんですよ、まさに移住者、移住者は町が補助金を出して来るもんじゃないんですよ。みんな勘違いしてるんですよ、あった方がいいけど。移住者は、「人」と「友達」から来るん

ですよ、大間違いですよ、補助金を出すから人が来るんじゃないんですよ、「人」ですよ「人」、「友達」、「面白そう」とかなんです、私も役人でしたが役人がよく間違うのが、制度を作ったから人が来るとは大間違い、意外とどうでもいいような事が大事なんです。徳島県神山町で、山の中で何も無いようなところが、IT 企業を呼んで、ある人がいろんな人を連れてくるけど、彼がいるから行こうとかね、そういう形になってくるんです。だからこれを整理しましょう。次はいつやる予定ですか。

(事務局)これから決めます。

(Co)そうですか、じゃあとりあえず、今日はスケジュールと顔合わせで、私が今日提案したい事、これを次しましょう。いいですか。それで計画の骨組みを作ります、次回は。だから、宿題として、強み、弱み一人 3 つ以上。弱みを何のために何をやるかが、課題であり、次の計画の中に盛り込む、で、強み、チャンスはそれを活かして発展させる、といった感じでやっていければと思います。一番大切な事は、皆さんの意見を対比して、言った人はそれを責任を持ってサポートする、ガソリンスタンドが欲しいとおっしゃいましたね。

(委員)はい。

(Co)では、ガソリンスタンドを作ったら協力します、私。そういう形。それが大事なんです。だから、こういう事をやらないといけないし、言った以上はある程度の責任を負う、いう形に思っていたかかないといけないです。という事で、次回は何をやるじゃなくて、次は、宿題です、宿題。強み、弱みを 3 つずつ。移動販売も話が出ていましたね。継続する取り組みをしていたんですよ。江府町の「あいきょう」です。

(委員)最初の委員会から参加させてもらっていて、提案書の事もしっかり理解してなかったと思ってるんですけど、当初小さな拠点というのは、機能を 1 ケ所に集約するって聞いたんですけど、この泊支所の機能が改修で残った場合と、中央公民館泊分館を立て替えるという事は、場合によっては、機能が集約されないという事もあるという事ですよ。自分が感じた事なんですけど、今後の運営方法が、自分は売人じゃなくて分からなくて、どうしていくかって昔はまちづくり会社を立ち上げて、みたいなことを言ったんですけど、具体的な所になってくると分からないので、その辺は委員に商工会とかはいつてらっしゃるので、うまく運営がいくような形が、この会で示せれたらなと思いますし、前回の会議の間から、しばらく空いてて、その間で感じた事ですが、IT とか AI で自動運転なんかがでてくるのかなって、思ったら歩いて買い物に行けるって言う所に拘らなくても、今後色々変わってくるような気がしてですね、あと山陰道が湖山池の南回りに全線が開通したら、例えば、鳥取倉吉間をノンストップで来るようになった場合は、もう少しインターの発展の仕方とか変わってくる可能性もあるでしょうし、今、インターの端と一里浜線の出口端に新しい家が現実建っていて、もしかしたらそこを挟んで新しい家が建ってくるという可能性も考えると、泊地区内の人口動態が変わってくる可能性もあるので、それを見越したうえでこの新しい拠点の立地決めなども、ちょっと一応決まったって事に迷いがあるというのが正直な気持ちです。

(委員)あいさつの中で 10 年後、20 年後を見据えたといったのは、今おっしゃられた様に、山陰道がこの 10 年でまず東部は、来年開通になり、北条道路も 10 年以内には、山陰道として開通するということになると、多分山陰道の交通量が 2 倍くらいになって、泊・東郷インターを降りる、鳥取米子間が 1 時間くらいになった時に、ちょうど中間地域になる泊地域から倉吉や津山に抜ける交通の利便性もよくなって、そういう泊は先生が言われた強みだと思います。山陰道が通っている、旧 9 号線も通っている、JR の駅もある、そして漁港もあるという事で、立地的にはまだまだ発展する可能性を含んでいると思ってまして、あとは何が必要かと言うと、言われたように住宅、若い人が家を建てる土地であるとか、最近 2、3 軒建ってきて、これがきっかけになればなあと考えてまして、そういう事を進めていけたらなど、そのためには泊地域の今の現状を最低でも維持できる、維持しなければならぬという事で、今、店がないっていう事も、コンビニ空白地っていうのは、もしかしたら、チャンスかも、これから全国的に人口が減ってくる中で、大手のコンビニチェーン店は、次どこに出店しようかと考えていると思うので、もしかしたら、コンビニがないっていうのは、ピンチではあるけれども、もしかしたらチャンスであるかもしれない、その場所を用意する、人口規模を維持する、っていうのが必要なのかなと今考えてまして、出来る事からやっていくのが大切かなと、いう想いをしております。

(Co)今の話聞いていいですか。事務局に宿題。今 10 年後と言いましたね、10 年後の湯梨浜町の人口、あるいは泊地域の人口はどうなりますか、人口推計っていうのは、かなり推計値正しいんですよ、平均寿命で考えていくと、例えば、55 歳の方が 65 歳になるし、だから少なくとも 15 歳までと 15

～65歳の生産人口、65歳以上の3段階に分けて人口動態がどうなっているかという事を調べてください。基本になりますよ、おっしゃる通りに。10年後どうなっているか。あとは、ほんとは商業統計とかね、ちょっと見て、この地区の人たちがどこで買い物しているのかという話も大事になってくる。で、私鳥取から米子に行く時いつもどこで買い物していたかと言うと赤碕なんです。赤碕が一番いい、あっちに道路が出来て、ちょっと困ってしまったと思うけど、ちょうど中間地点で、結構、海のいいものがあるんですよ、赤碕の道の駅には。それを逆にこっちの持ってこさせようと思ったら、もう1つ大事な事は、うまくいっているところを見に行くって言うこと、道の駅を1人じゃなくて何人かで、最低でも3人以上で行って、ああでもない、こうでもない、絶対1人だと見落としがあるから、意見を言いながら感想を言いながら、見るという事はとっても大事な事で、道の駅で、大きな高速道路の下で、うまくいっているところ、例えば海じゃないんだけど、愛媛県の道の駅で近隣の農産物を売っている結構購買があるところがあります。そういう成功していると思われる道の駅をいくつか見に行くとかね、こういう委員会が大事な事はそういうところに行って、自分たちの課題を整理したうえで、見に行く。課題はさっきのガソリンスタンドがない、店がない、買う所がない、でさっき海がありますね、買い物するところがありますかって言われた時に、ちゃんと答えられるように。すごくいい指摘ですよ、買い物するところがないというのは大きな欠点です、汚点です、逆に言えば、地域が何もしていないという事です。だから、そこがまさに他所から人が来た時に、どうかなと考えなければいけない。せっかく落ちるお金を捨てる事が出来ない。そういう事を考える必要があるなあと思いますね。だから、そういう物を作ることが基本計画の中に盛り込んでいく、それが集まった拠点が最終的な基本計画になって、そういう基本計画に基づいた、基本設計が出来上がって、こういう店を置きましょうという事になります。その中には皆さんの意見をどんどん入れてもらって、他所から来た人間が、地域でお互いがみあったり、いいにくい事は他所から来た人間に言わせればいいので、そういう風に使ってもらったらいいので。

(会長)はい、ありがとうございます。では一通り皆さんに意見をいただいて、ちょっとやり方が見えてきたかな、という所もあるかなと思いますので、今後の進め方については、次集まる時には宿題をあらかじめ、事務局から出しといてもらって、当日言うんじゃあ、また時間がかかるので、あらかじめ意見を出しといてもらって、事務局に送ってもらってまとめた上で、また次集まるというようなやり方でないとなかなか・・・。

(Co)それが、とっても効率的。

(会長)そういう形で進めていけたらなと思いますけど。

(Co)あと、もう1つ宿題いいですか。今私、道の駅の事を言いましたけど、道の駅やそういう販売施設で、行ってみたいところがあれば、調べてもらって、こんなところに行ってみたいという所があれば、出してください。そしたら、交渉して行けるように、行っても実際そこを使っている人とか、苦労して作った人の話を聞かないと意味がない。

(委員)今自分が、この地域に生活者としていんですけど、確かに泊地域に農産物直売所はあったりしたらいいなと思うんですけど、この地域って、農産物直売所が今飽和状態なので、今更そこに参入するっていうメリットを感じないんですけど、泊のお魚の販売所もあるんですけど、地の物を置いているかどうか分かりませんが、価格の競争力がないっていう風な話も聞いたことがあるし、あと、先進地視察にはもう行っているんですよ。

(Co)どこに？

(委員)島根の・・・。

(事務局)はたマーケットです。

(委員)それと泊地域には温泉がないんですよ。

(Co)ああ、なるほどね。先進地に行って、参考になったことは何ですか。それが整理されていなんです、自分とこに弱いところがあって、それを補ったり、敢えて洗い出すために行ったんでしょ、そうじゃないんですか。先進地にはどういう目的で行ったんですか。

(委員)近くの、アクセスしやすく、規模がここより小さくて、運営が出来るような。

(事務局)店舗って考えるとどうしても。

(Co)皆さんの頭の中には、店舗があるんだ。

(事務局)買い物がどうしても出来ないから、作らないといけない事があって。

(Co)買い物難民か・・・。

(事務局)それで、選ばせて頂きました。

(Co)買い物か、一番の問題は買い物か。だから、買い物が出来るところが欲しい。買い物が出来ない、

これには、強みと弱みが両方ある、買い物するところがない。あと、直売所がいっぱいそれはあるという話だったんですけど、それはそのとおりで、それをどうすればいいかを考えなければならない、泊の強みはなんですか、っていう強みを考える。知恵を出す。泊の野菜で一番有名なのはなんですか。あんまりない？

(一同)野菜はほうれん草。

(委員)ほうれん草、それから時期によっては梨、スイカがメインです。

(Co)スイカって聞いたら、北栄町だけど、でも、梨だったら、湯梨浜町じゃないですか。全体的にね、そういうのを出してくれば、いろいろ出てくるんですよ、梨とかね、私は、泊って言ったら泊漬けじゃないかと思うんですけど、

(委員)それは観光の方のお土産品として泊漬けは最高だと思います。

(Co)でしょ、そういう物から発展させていくんですよ。だから強みから発展させていく、泊漬けがあるんだったら、他にも、梨でも出来ないかとか、あるいは、漬物の中に魚入れたらどうとかね、

(委員)例えば泊漬けと泊で取れた米をセットにして、こういう風に食べてみてください、と試食したらもしかしたらいいのかなど。

(Co)そういう事です、そういう事。例えば、そういう事が出来る専門家を呼んできて、そういう事をイベントする、地域の食材がいっぱいあるので、それをうまく利用した特産品に、これを置く店を作るんですよ、他にいっぱいあるんならいっぱい利用すればいいんです、梨だろうと、スイカだろうと全部利用すればいい。で、利用する時は泊の魚を加えてセットにして、そういう知恵を出し合ってやればいいかなと思います。あと、温泉は離れて泊にはないかもしれないけど、まあ、何分かかりますかね、はわい温泉もあるし、東郷温泉もあるし。

(委員)10分以内

(Co)そうですね、10分から30分以内に行けるところは地元と思っていいですよ、で、例えば、智頭とか八頭には温泉がないので、実は民宿する時に一番困るのはお風呂なんです。だから、みんなを乗せて、温泉に行くんですよ、そうするとお風呂しなくてもいい、だからそれは、東郷温泉もはわい温泉もあるし強みなんです、そういった使い方をすればいいので。で、海で例えば地引網をやって、疲れたなら温泉に行きましょうかと、セットでいろいろ考えられると思うんですけど。泊ならではの特産品を作って、売るビジョンを作って行く。あと地元で活躍している人はいなんですかね、有名になった人、いませんか。

(委員)マウンテンバイク。BMX。

(Co)マウンテンバイク。そういう人たちのネットワーク、例えば、マウンテンバイク、自転車の好きな人のツーリング、世界大会をやるとか、呼んできたりする、その時に、これをセットでやるとバードと一気に広がるんですよ、地元の人に。

(事務局)それなら、サーフィンの方がいいんじゃないか。

(委員)石脇に拠点がありますからね。サーフショップが、かなり集まってきましたからね。空き家をサーフショップにして。

(Co)そういう意見をいっぱい出して、意見が固まってきましたから。

(委員)何か1つをすることによって、また、違ってくるといふ事。

(Co)そうです。いっぱいありすぎてだめなので、この中で、これだけをやってみようというのを。

(委員)それで今まで、グラウンド・ゴルフをやってきたんじゃないですか。

(Co)じゃあ、グラウンド・ゴルフの次に何をしましょうという事です。

(委員)グラウンド・ゴルフはあまりにも大きすぎるんで、さっきみたいなサーフショップの誘致とかをやってから、こうやりましたよと言う実績をアピールしたい、それからさっき先生がおっしゃったように、ガソリンスタンドとコンビニをセットにしたということなら、やはり、私、今ずっと聞いていて、これを読んでいて思ったんですけど、拠点が泊漁港になっちゃってますけど、泊漁港に拘らずに、例えば原地区の交差点の所にバス停の所なんか空いてるので、人通りの多いところを第一の拠点にすることもいいんじゃないかと、交通量が多い方が人の目につくんで、何かをする上に置いて、ちょっと寄ってみようかなとか、寄ってもらったら、先ほどの特産物の漬物があったりだとか、泊の特産物とか、今鳥取県が推奨している米のきぬむすめが、置いてあったりだとかで、そういう食堂的なものがあれば、マッチングさせれば、美味しかったから買って帰ろうとかか、でもひよっとしたら、古い考えかもしれないけど、もしかしたら、そこに1つの発展性があるって、農産物なり、魚介類をマッチングさせることも、いいんじゃないかなと考えております。

(Co)案内所ですよ、案内所。インフォメーションセンター。

- (委員)泊を発信させるためのインフォメーションセンターになると思うんです。そこにパンフレットなんか置いて、というの、やはり人の流れがないと、ダメだと思うんです。
- (Co)とっても、いいですね、今の。アンテナショップを交通の要所に置いておく、でこっちに行ったら漁港があって、なにをやってますよと、いつもするのではなく、月に 1 回と決めておいて、漁港に行って魚の安売りか何かやるとか、そういうのをイベント的に試しにやってみるとか。そういう事が必要かもしれません。
- (委員)ただ、そういう風に建物を建てたり、土地を買収したりするのもかなりのお金がかかるんで、特にガソリンスタンドなんかは、そりゃ、莫大な金がかかるのでね。
- (委員)容器を作らないといけないからね。
- (委員)その容器が、ガソリンタンクが、改修するのにあまりにも高すぎるんで、数千万かかるという事で、ガソリンスタンド、これだけ価格破壊が起きている中で、手を上げてしまうガソリンスタンドが。
- (Co)逆にそれはチャンスだ、手を上げているところを安く買い取る。
- (委員)まあ、確かに。
- (Co)で、アンテナショップを作ればお金がかかる、建物を建てなくてもいい、テント 1 つでいいんです、極端な事を言えば。知恵を絞って行動を起こさないといけない。
- (委員)ごめんなさい、ガソリンスタンドはなしでいいです。羽合地域までガソリンが持つかなと今日思ったので。
- (委員)泊地域にはガソリンスタンドが一軒もないので、ハッキリ言って欲しいのは欲しいです。ただ、価格的に高いので。
- (委員)電気のコンセントでもいいかもしれませんね。電気自動車の。
- (事務局)受給範囲で、東郷地域にも羽合地域にもあるので。
- (委員)まあね、そうですね。
- (会長)ぶっちゃけ作って、高い単価のガソリンになっちゃうと、ほんとに入れるかなってというのが。
- (Co)あってもいいんだけど。この村の中の潰れたところを買い取って、地域が運営したら、どっか潰れたところか、閉めたところに施設は残ってるわけだから。
- (事務局)だた、そこは、新しい規格に合わないんですよ。だから、ガソリンスタンドの貯蔵庫の規格が上がったんです。それが履行されてないから、みんな辞めてるんです。
- (会長)30 年たったら、規格を変えないといけないという事で、みんながやめていっている。
- (委員)規格を変えるのに、1000 万から 2000 万くらいかかっちゃうんですよ。タンクだけで。それで、みんなが利益を見込めないんで、もう、やめようっていう事で。
- (会長)まあ、場所の問題ですけど、案もいろいろ何回も出ていて、そのインターの近くっていうと、やっぱり外の集客に目がいくじゃないですか、どっちかっていうと。多分、あそこまで歩いて行ける人って、原地区の人ぐらいしかいないので、最初考えたのが、今困っている人をどうしたらいいかなという所で、場所の議論があったんです。ただ、港に宇谷地区の人が歩いてこれるかというところでもない部分も現実的にはね、あるんで、移送サービスもいるのかなという事も話し合ったりして、紆余曲折してしまいました。
- (委員)でも、拠点じゃないと配達する事がまず出来ないんでね。その拠点到商売上のことなんですけど、物流っていうか、物が流れて利益をある程度生めて、そういう物がないと多分ダメだと思う。
- (会長)移動販売ではなく移送サービスというのがね、買い物する人も物見て買いたいということがあったんです、物持っていくという発想もあるんですけど、地区ごとに来てもらうっていうのも、どうかなと考えたりしました。それが移送サービスなんですけど。
- (委員)今聞いてると、湯梨浜町のいろんなところに、湯梨浜町全体に広がってるんですけど、この目的が、ここの住民のアンケートを取って、この拠点で、この範囲でやりましょうとなっているので、ここから発信していく事をまず考えないと、それにあとガソリンスタンドなんかにしても、例えば、人が集まってきたら、じゃあガソリンスタンドを作ろうかっていう後の話の発想であって、まず買い物難民、ここをどうするかっていう事から考えて、人を呼び込んでいく事を考えていく、ここのエリアでですね、そう考えないと、話がまた、元通りになって、どこにエリアを設けようかっていう話から議論しても、今から、基本計画を策定するうえで、そういう議論する場は過ぎ取るんじゃないかと、このエリアについて、ここは何とかする、少子高齢化があったんですけど、情報発信させようと思えば、少子高齢化になると自ずと空き家とかが絶対出てきます。そこを活用すれば、その中に空き家があれば、そこから情報発信、インフォメーションセンターを作ればいい事だし、そ

ういう発想の方が自分はいいかなと思います。

(会長)今、泊の空き家を調査していただく地域おこし協力隊が、出来たんですね。

(事務局)協力隊がね。サーファーの女性。非常にこの泊地域に魅力を感じて応募していただいた。1日から、泊地域を中心として、空き家調査を行う、

(会長)次から、協議会のオブザーバーに是非入っていただけたら、と思いますけど。

(Co)調査はどんな調査になるのでしょうか。

(事務局)これからなるんですけど。

(Co)一番空き家で困るのは、仏壇とおトイレなんですね。仏壇があるから、帰ってくるから、あるいは使う方も仏壇があるから、使いにくいとか、

(会長)トイレが水洗になってないのも、大問題で。

(Co)空き家も調査やっているんですけど、ABC と分けて、大改修しないとダメ、あるいは、ちょっと改修すればOK とランク付けして、この空き家はちょっとの改修で済むとか、大改修しないとイケないとランク付けした方がいいですね。

(事務局)それはもう既に調査は済んでいます。建設水道課で、耐震の関係があって、地震調査の関係がありますから、ただ、そういう空き家以外の空き家はきっとあるんだろうな、と。あっても使っていない家が出てくる可能性がありますので、そちらの方を中心として、もう一回調べなおして使える、要はそういう使える空き家があっても、使えるかどうか、その人がだすかどうかの調査をしていない。

(Co)それは、意向ですね、貸してもいいかどうか。

(事務局)そうです。

(会長)空き家って事は、オーナーが居ないという事だから、なかなかそっちまでアポが取れてないってことですよ。では、どうでしょう、今後の進め方について、さっき言われたように次の回までに、今回、次何をするかっていう事を決めといてから宿題を出して、事務局に送って、まとめてもらった上で集まるという形をしないと、またその場でしゃべったってまとまらない事になっちゃうので。そういう形で、また事務局と会長、副会長とCoとで、進めながら、次のテーマとか、それまでにしてもらいたい事を皆さんに、出した上で進めていけたらなあと思いますけど。今日は、今後のスケジュールと具体的なやり方も分かってきたので、そういう形で進めていくという事で、今日の所はよろしいですかね。

(Co)次のスケジュールは？

(会長)その日程もこの場で決めてしまいますので。

(Co)一週間くらい前に、その打合せをする。出てきたものをセットしないとイケない。

(事務局)基本計画をまとめるのにどのくらいの時間が必要ですか。

(Co)2 週間。

(事務局)2 週間。じゃあ、充分ですね。

(Co)データがあって、2 週間です。

(Co)出来たら 1 週間前に、打ち合わせ会をやりたい。役場と、会長さん、副会長さん、私とで。出来たら、例えば今月いっぱいくらいに、宿題とか人口の問題、空き家の問題などのデータをください。

(会長)では、また事務局から、宿題のペーパーなり、メールなり送ってもらって、で、これを皆さんに拾い出してもらおうと、それを9月の・・・

(会長)では、事前に意見を出していただくと。いう事でよろしいでしょうか。ざくっと上がったものを、ここで出して、整理して。

(Co)模造紙を持ってきますので、模造紙に書いて、ワークショップ形式で整理したいと。

(会長)分かりました。

(事務局)宿題は、強み、弱み、チャンス、ピンチをそれぞれ3項目ずつくらい。

(会長)以上って、事で。

(Co)出来たら、3つ。1つでも、2つでもいいです。それが宿題。役場に宿題は人口の関係と空き家の関係をください。あと出来たら、視察されたという話だったけど、もしそれ以外に、こういう所見たいと言う所があれば、それも頭に入れといてください。

(会長)例えば、正直言って、はたマーケットに行ったんですけど、補助金で成り立っているところだったんです。中身いろいろ聞いたら。年間にいくらかの助成金がずっとあって、出来れば自立しているような所が見れたら。

(Co)そういう所、探してみます。自立出来ている所ね。とってもいい視点。自立してないと長続きしま

せん。

(会長)結果的に、はたマーケットは、結構な補助金がありきの内容だったんで。行って見て聞いて初めて、経営内容が分かったんで、それはそれでそういう実態があるという事で。

(Co)実態を知ることはすごく大切な事です。

(会長)逆にそういう所は、そうでないと出来なかったのかな、という事も含めて。

(Co)私も、私なりに自立している道の駅なり、探してみます。近いところでね。

(会長)お願いします。本日は以上で、終了したいと思います。ワザバーの方から何か一言あれば。

(ワザバー)春からこちらの会合に参加させていただきまして、私たちの立場で、ああだ、こうだとは申し上げられませんが、本日先生がおいでになられて、ある意味、皆さんの意見を吸い上げてそれを広げていくような手法だったと思います。上からの目線ではなく、皆さん方の意見を広げていく、集約していくような事だったと思いますので、これからどんどん加速度的にこの会は進んでいくように期待をしています。

(ワザバー)我々の知っている範囲で、地域の活動が、いろいろと県内に事例がございますので、事務局と協調しながら、進めさせていただけたらと思っているところです。

(会長)ありがとうございます。

(ワザバー)とまりの海の駅協議会と内容が近くなってくると思うので、一緒に考えていけたらと思います。

(会長)ありがとうございます。本日は以上で、事務局の方はよろしいですか。

(事務局)今言われていた海の駅協議会との合体の話は、いい時に 1 回議論していただけたらなあ。同じような事をやっていますので。

(会長)そうですね、特に、店舗とか外からの集客についてそっちを考えている部分がありますので、どっかで一つにならないと。少なくとも情報共有しながら、やっていかないといけないと思います。イメージ的には小さな拠点は、住民向けがメインかなと、海の駅の方はどっちかっていうと、外からの集客でいって、地域を盛り上げようかなというような事があるので、店舗に関しては外から来ていただかないと、外貨を落としていただかないとなかなか上手くいかないと思うので。そういう意味ではどっかの時点で、情報共有なり、方向の確認はした方がいいのかと思います。そこはまた、一緒に相談させてください。それでは、本日の所は終了したいと思います、みなさま、お忙しいところありがとうございます。また、引続きよろしくお願いします。

次回：10月9日(火)19:00～

【宿題等】

※1週間前までに強み、弱み、チャンス、ピンチについて提出

※10年後の人口、空家の情報

※視察希望地